

第5章

文書の校閲

Check	この章で学ぶこと	175
Step1	作成する文書を確認する	176
Step2	文章を校正する	177
Step3	翻訳する	183
Step4	コメントを挿入する	185
Step5	変更履歴を使って文書を校閲する	191
参考学習	2つの文書を比較する	198
練習問題	200

第5章

この章で学ぶこと


学習前に習得すべきポイントを理解しておき、
学習後には確実に習得できたかどうかを振り返りましょう。

- 1 文章校正を利用して文章を校正できる。
→ P.178
- 2 表記ゆれチェックを利用して文章を校正できる。
→ P.179
- 3 スpellチェックを利用して文章を校正できる。
→ P.181
- 4 インターネットを利用して文字を翻訳できる。
→ P.183
- 5 コメントや変更履歴のユーザー名を変更できる。
→ P.185
- 6 文書にコメントを挿入できる。
→ P.187
- 7 文書に挿入されたコメントを表示したり、非表示にしたりできる。
→ P.189
- 8 文書のコメントを削除できる。
→ P.190
- 9 文書の変更履歴を記録できる。
→ P.191
- 10 変更履歴の内容を本文に表示できる。
→ P.193
- 11 変更履歴の内容を文書に反映できる。
→ P.195
- 12 2つの文書を比較できる。
→ P.198

1

作成する文書の確認

次のような文書を作成しましょう。



議事録

作成日：2019年9月2日

件名	セミナー企画担当者会議
日時	2019年9月2日（月）14:00～16:00
場所	本社 第一会議室
出席者	山田部長、黒本課長 企画G)長澤、竹田 後方支援G)塩本、富士（敬称略）
書記	富士
議題	2019年度7月開講セミナー集客状況報告

2019年度7月開講セミナー集客状況報告

資料については別紙参照

5教室とも4月開講セミナーに比べてダウン（15～20%程度）。

<山田部長より>

例年、7月開講セミナーは受講率が低下するが、企画担当側に危機感が感じられない。創意工夫が足りていないのではないかと、プロジェクトチームを作って7月開講の集客率アップを目指す。

<現状分析>

- 4月開講の集客率が好調な理由としては、野外セミナーの人気の高いことが大きな要因ではないか。それを7月開講につなげられない。10月開講では、再度、野外セミナーの人気の高まる傾向にある。
- 野外セミナー愛好者にとって、7月は休息の時期となっていることが考えられる。（実際、4月と10月の野外セミナーを申し込む受講者は多い）
- 過去2年間における集客率が高い企画は次のとおり。
「四国八十八か所 心洗われるお遍路の旅」（2017年度通年企画）
「劇団 camellia、ミュージカル「On a rainy day」の世界に迫る」（2018年4月）
「デジタルカメラでぶらり散歩&写真集作成」（2018年10月）

<目標>

次年度7月開講セミナーの集客率20%増

次年度の7月開講セミナーについては「例年どおり」という言い訳をしない。過去のデータ分析と創意工夫で好転させる。

<今後の作業予定>

- プロジェクトチームの発足
- 現状分析
- 他社分析
- 潜在ニーズの発掘
- 野外セミナーから屋内セミナーへの流れを作る

<次回予定>

日時 2019年10月7日（月）13:00～16:00
場所 本社 第二会議室

表記ゆれ
チェック

文章校正

スペルチェック

変更履歴の
記録と反映

翻訳

コメントの
挿入・削除

1

2

3

4

5

6

7

総合問題

付録

索引

1

文章の校正

文章を校正する機能を使うと、誤字や脱字、文体の統一、い抜き言葉、ら抜き言葉などをチェックできます。また、「フォルダ」と「フォルダー」といった表記のゆれや、英単語のスペルミスがないかなどもチェックできます。入力した文章を読みなおして校正する手間を省くことができるので効率的です。

文章を校正する機能には、次のようなものがあります。

- 文章校正
- 表記ゆれチェック
- スペルチェック

2

スペルチェックと文章校正の設定

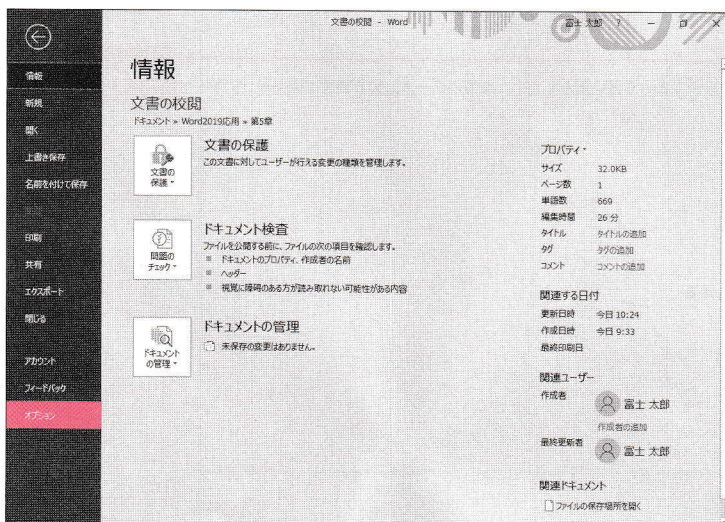
初期の設定では、入力中にスペルチェックや文章校正が行われ、問題のある箇所に赤色の波線や青色の二重線が表示されます。スペルチェックと文章校正は、入力中に行われなないように設定したり、校正のレベルを作成中の文書に合わせて変更したりすることもできます。

校正のレベルを「通常の間」に設定しましょう。

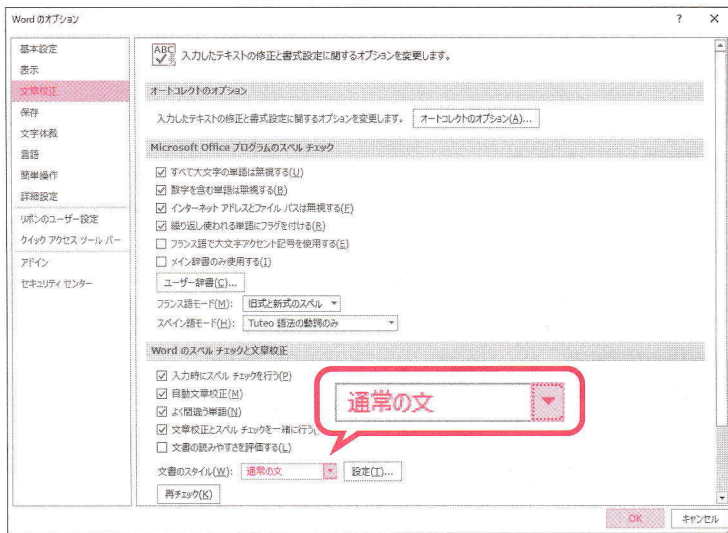


File OPEN

フォルダー「第5章」の文書「文書の校閲」を開いておきましょう。



- ① 《ファイル》タブを選択します。
- ② 《オプション》をクリックします。



《Wordのオプション》ダイアログボックスが表示されます。

③ 左側の一覧から《文章校正》を選択します。

④ 《Wordのスペルチェックと文章校正》の《文書のスタイル》の▼をクリックし、一覧から《通常の間》を選択します。

⑤ 《OK》をクリックします。

校正のレベルが設定されます。



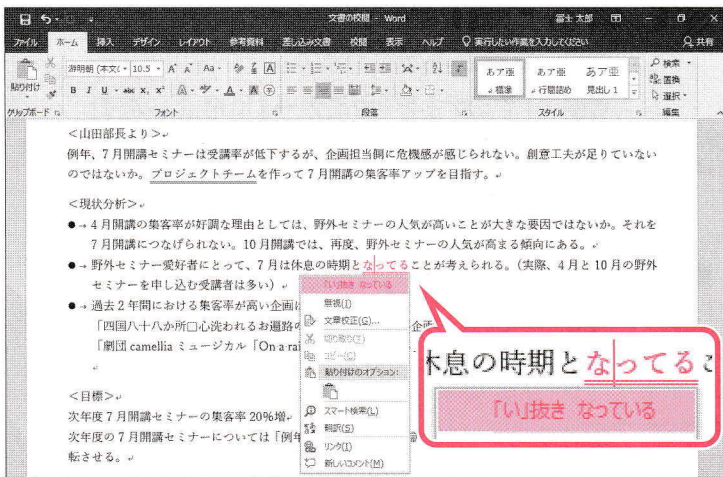
POINT 校正のレベル

校正のレベルに「くだけた文」が設定されていると、い抜き言葉に青色の二重線が表示されません。

3

文章校正

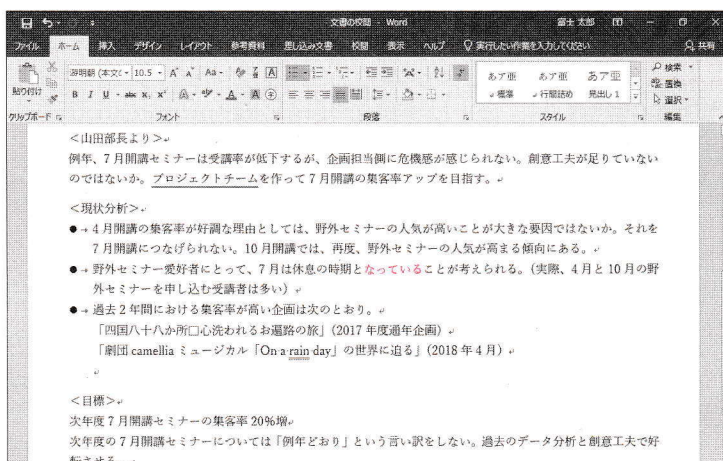
文法が間違っている可能性がある文章には、自動的に青色の二重線が付きます。い抜き言葉の「なってる」を「なっている」に修正しましょう。



① 「●野外セミナー愛好者にとって…」の行にある青色の二重線の付いた「なってる」を右クリックします。

※青色の二重線上であれば、どこでもかまいません。

② 《「い」抜き なっている》をクリックします。



「なっている」に修正され、青色の二重線が消えます。

1

2

3

4

5

6

7

総合問題

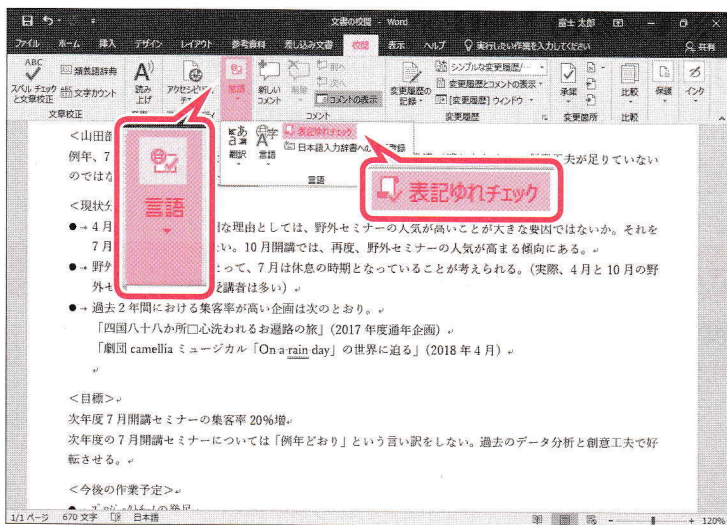
付録

索引

「フォルダ」と「フォルダー」や「パソコン」と「パソコン」などのように、表記が統一されていない場合は、自動的に青色の二重線が付きます。

青色の二重線の箇所をひとつずつ修正していくこともできますが、「表記ゆれチェック」を使うと、文書内の表記ゆれをまとめて修正することができます。

表記ゆれチェックを使って、文書内の表記ゆれをまとめて修正しましょう。

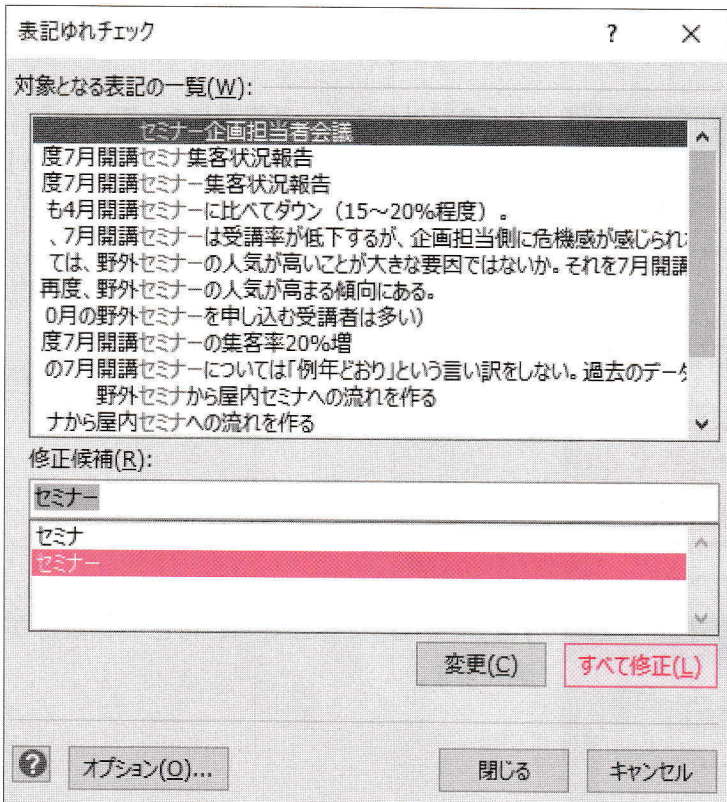


①《校閲》タブを選択します。

※カーソルはどこでもかまいません。

②《言語》グループの「表記ゆれチェック」(表記ゆれチェック)をクリックします。

※《言語》グループが「言語」で表示されている場合は、「言語」をクリックすると、《言語》グループのボタンが表示されます。



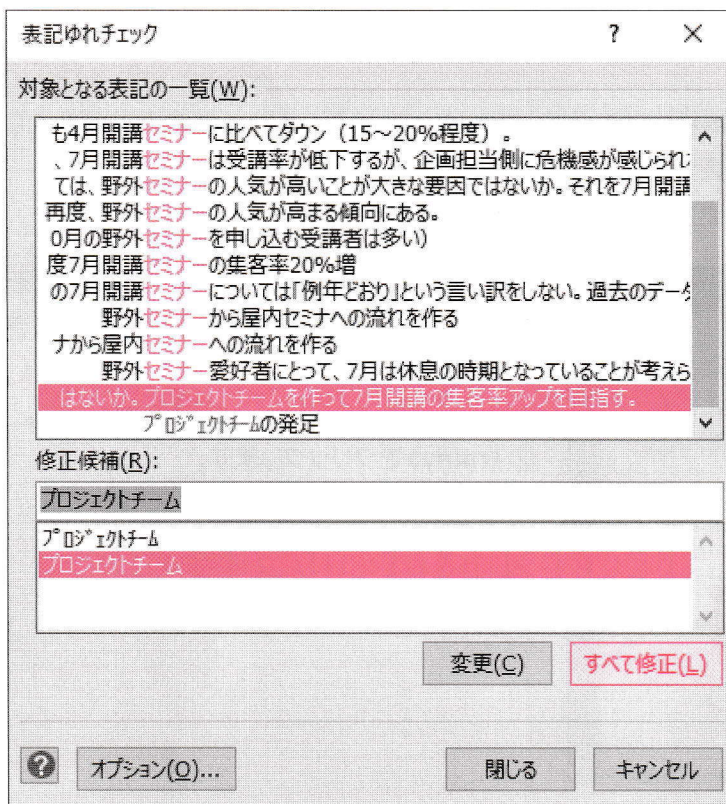
《表記ゆれチェック》ダイアログボックスが表示されます。

《対象となる表記の一覧》に表記ゆれを含む文章が表示されます。

「セミナー」を「セミナー」に修正します。

③《修正候補》の「セミナー」をクリックします。

④《すべて修正》をクリックします。



《対象となる表記の一覧》がすべて「セミナー」に修正されます。

「プロジェクトチーム」の表記をすべて全角に修正します。

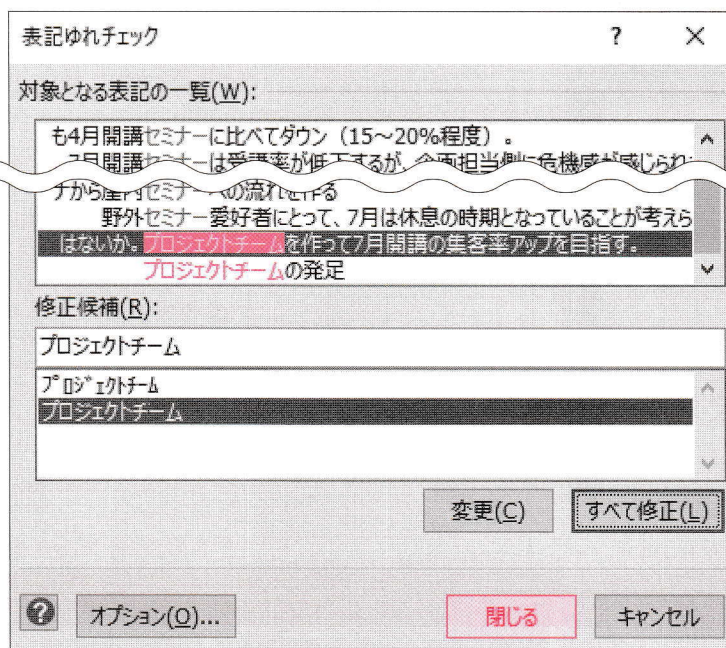
⑤ 《対象となる表記の一覧》から「プロジェクトチーム」を含む文章をクリックします。

※一覧に表示されていない場合は、スクロールして調整します。

※半角でも全角でもどちらでもかまいません。

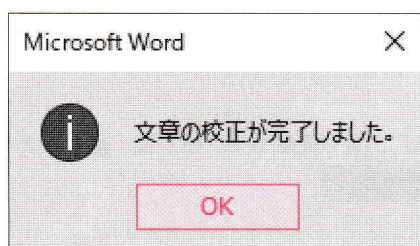
⑥ 《修正候補》の全角の「プロジェクトチーム」をクリックします。

⑦ 《すべて修正》をクリックします。



《対象となる表記の一覧》がすべて全角の「プロジェクトチーム」に修正されます。

⑧ 《閉じる》をクリックします。



図のようなメッセージが表示されます。

⑨ 《OK》をクリックします。

※修正された箇所を確認しておきましょう。

STEP UP 一箇所ずつの修正

表記ゆれを一箇所ずつ確認しながら修正していく方法は、次のとおりです。

◆《校閲》タブ→《言語》グループの「表記ゆれチェック」(表記ゆれチェック)→《対象となる表記の一覧》から修正する文章を選択→《修正候補》を選択→《変更》

1

2

3

4

5

6

7

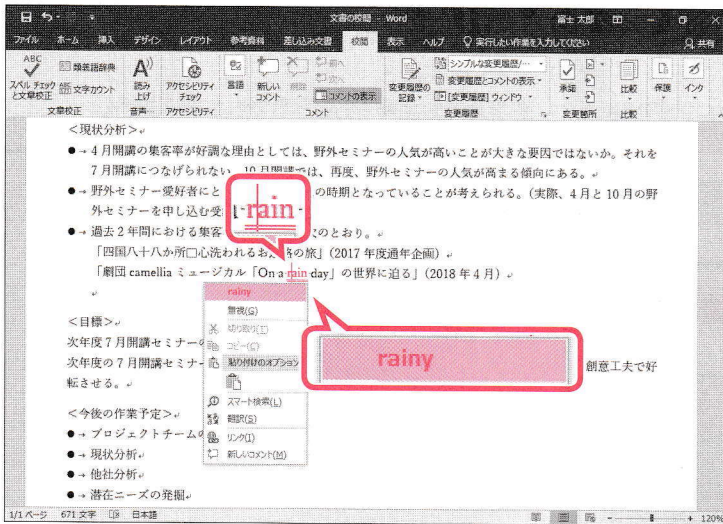
総合問題

付録

索引

スペルミスの可能性のある英単語には赤色の波線、スペルは正しくても文法上、間違っている可能性のある英単語には青色の二重線が付きます。

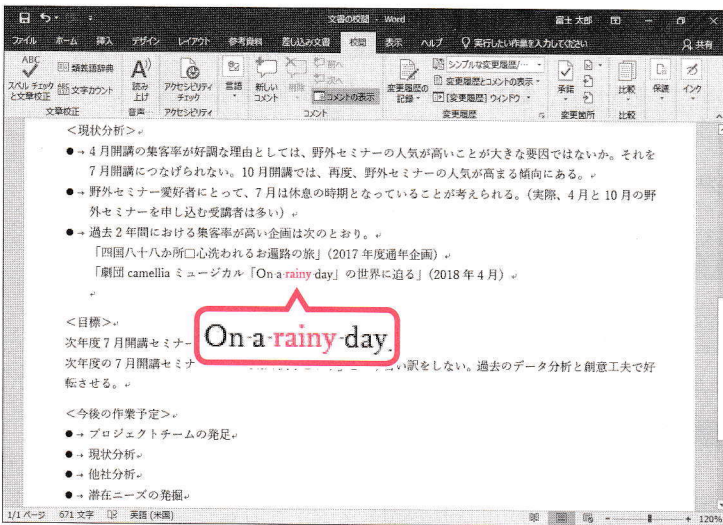
「On a rain day」と入力された文章を「On a rainy day」に修正しましょう。



① 「劇団camelliaミュージカル…」の行にある青色の二重線が付いた「rain」を右クリックします。

※青色の二重線上であれば、どこでもかまいません。

② 《rainy》をクリックします。



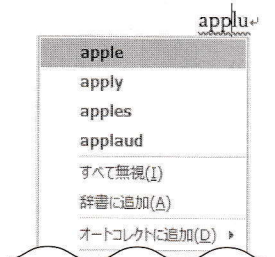
「rainy」に修正され、青色の二重線が消えます。

POINT スペルチェック

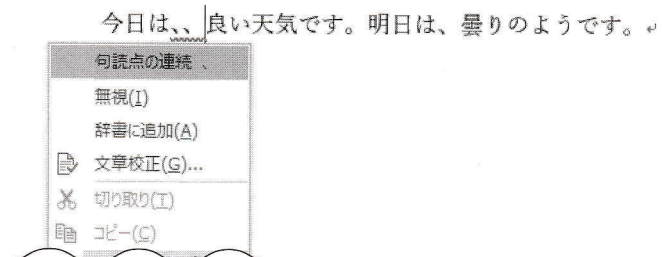
英単語のスペルミスや日本語の入力ミス、句読点の連続などの用法の誤りには、赤色の波線が付きます。波線の付いた単語を修正する方法は、次のとおりです。

◆赤色の波線の付いた単語を右クリック→修正候補の一覧から選択

●英単語のスペルミス




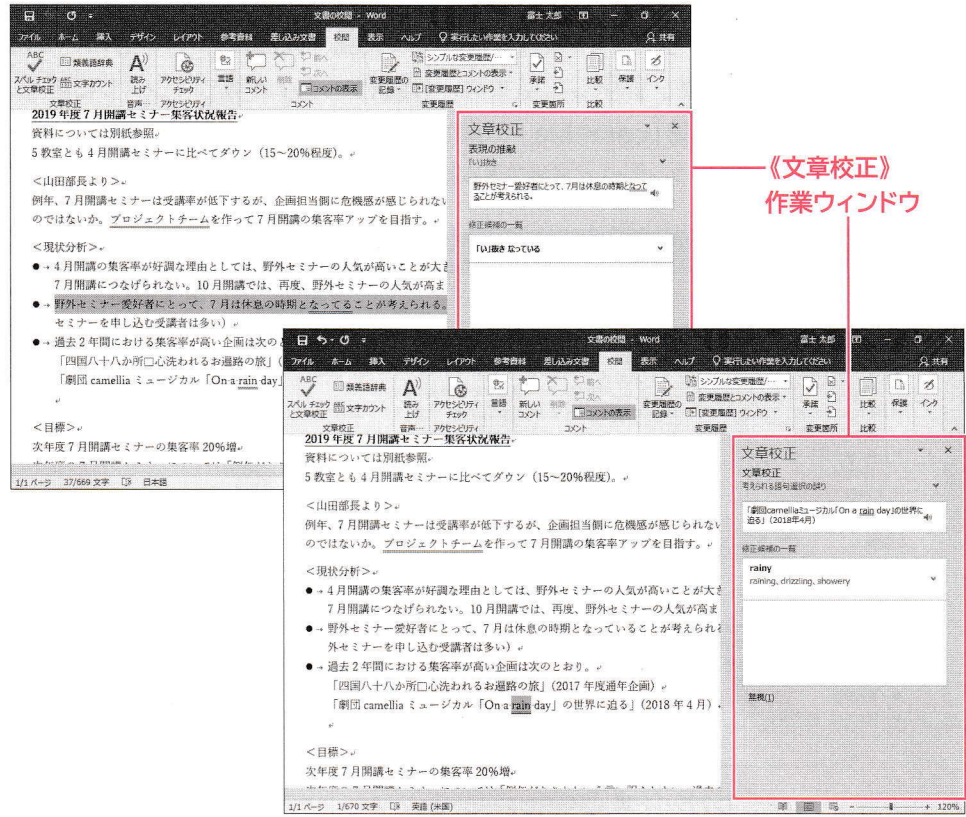
●読点の連続



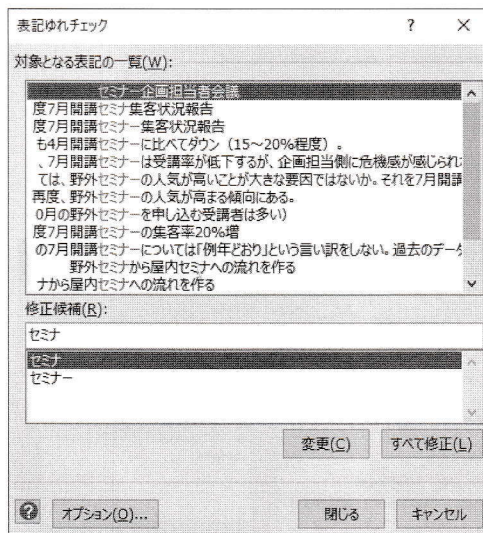
STEP UP スパルチェックと文章校正

「スパルチェックと文章校正」を使うと、「文章校正」作業ウィンドウが表示され、文章校正や表記ゆれ、スパルチェックなどを一括して行えます。あとから文書全体をまとめて校正する場合など、校正結果を表す波線をひとつひとつ確認する手間が省けるので効率よく作業できます。文書全体をまとめて校正する方法は、次のとおりです。

◆《校閲》タブ→《文章校正》グループの  (スパルチェックと文章校正)



《文章校正》
作業ウィンドウ



STEP UP 波線や二重線の非表示

赤色の波線や青色の二重線は非表示にすることができます。

◆《ファイル》タブ→《オプション》→《文章校正》→《例外》の 《この文書のみ、結果を表す波線を表示しない》 / 《この文書のみ、文章校正の結果を表示しない》

1

2

3

4

5

6

7

総合問題

付録

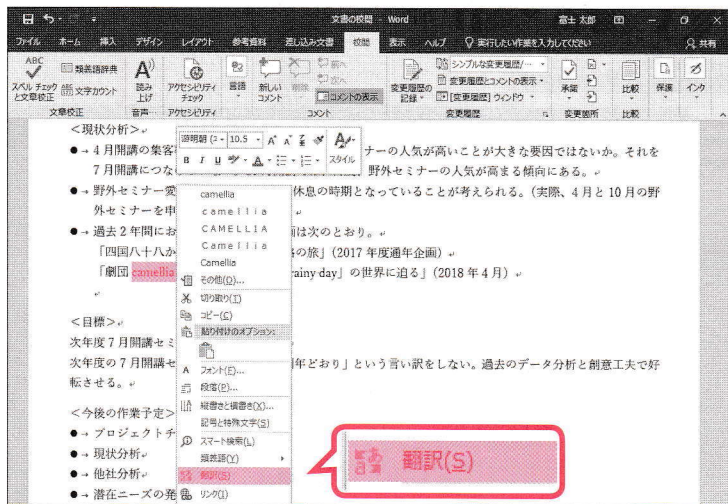
索引

1 選択した文字の翻訳

文書内の文字は、日本語から英語、英語から日本語といったように、別の言語に翻訳できます。翻訳した結果は、《翻訳ツール》作業ウィンドウに表示されます。

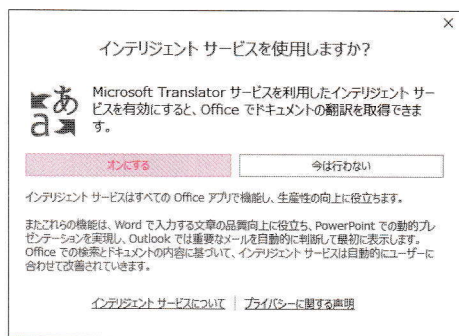
英単語「camellia」の意味を調べましょう。

※インターネットに接続できる環境が必要です。



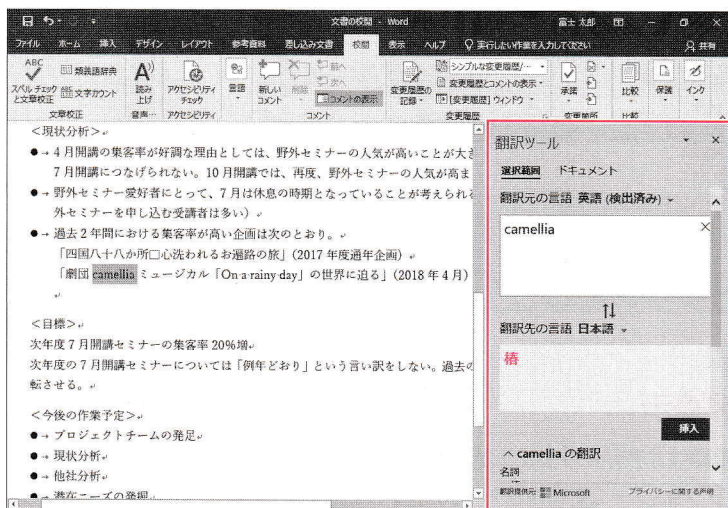
① 「camellia」を選択し、右クリックします。

② 《翻訳》をクリックします。



図のようなメッセージが表示されます。

③ 《オンにする》をクリックします。



《翻訳ツール》作業ウィンドウが表示されます。

④ 「camellia」の翻訳結果を確認します。

※ [X] (閉じる) をクリックし、《翻訳ツール》作業ウィンドウを閉じておきましょう。

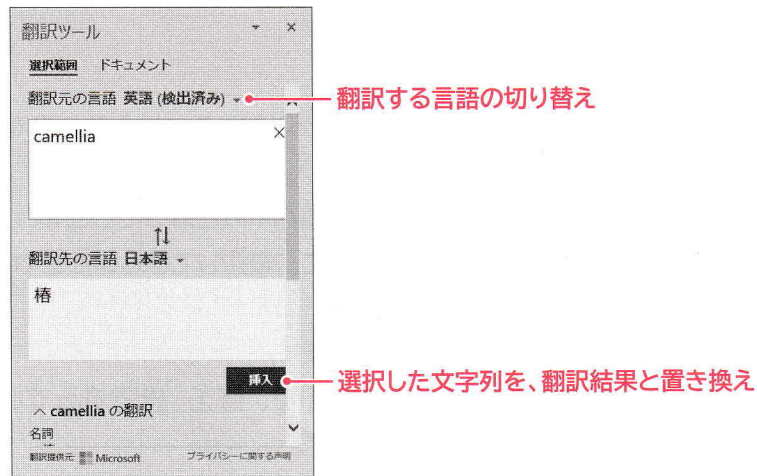
STEP UP その他の方法
(選択した文字の翻訳)

- ◆ 翻訳する文字を選択 → 《校閲》タブ → 《言語》グループの [翻訳] → 《翻訳の選択範囲》

《翻訳ツール》作業ウィンドウ

POINT 《翻訳ツール》作業ウィンドウ

《翻訳ツール》作業ウィンドウは、《翻訳元の言語》に直接、検索対象の文字列を入力したり、翻訳元と翻訳先の言語を切り替えたりすることができます。

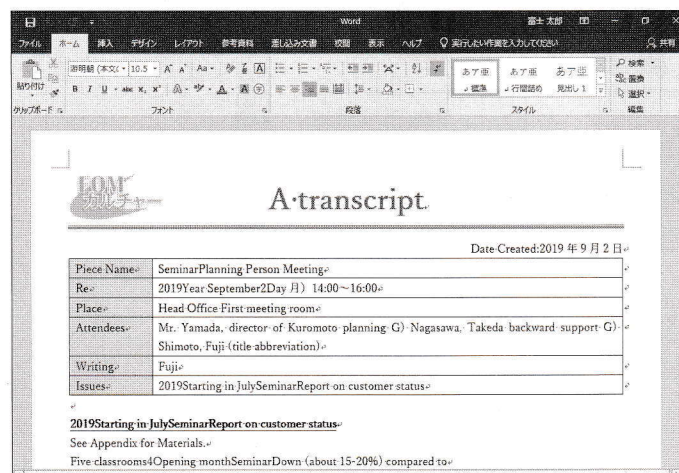
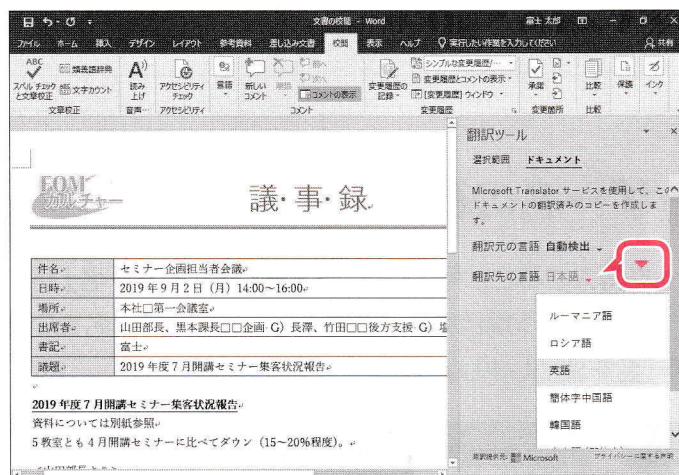


STEP UP ドキュメントの翻訳

ドキュメント全体を指定した言語で翻訳できます。

ドキュメント全体を指定した言語で翻訳する方法は、次のとおりです。

- ◆《校閲》タブ→《言語》グループの《翻訳》→《文書の翻訳言語の設定》→《翻訳ツール》作業ウィンドウの《翻訳先の言語》の▼→翻訳言語を選択→《翻訳》



1

2

3

4

5

6

7

総合問題

付録

索引